

政策情報学コース

専攻分野：文化研究

文化政策理論演習

朽木 量 教授



演習では、各自の研究テーマに沿った発表を通じて修士論文の完成を目指す。1年次はテーマ決定に主眼をおき、詳細な研究計画立案と文献調査、計画に基づくフィールドワークの実施を中心に行う。2年次ではフィールドワークの補足調査に加え、発表を積み重ねることで、論文完成を目指す。研究テーマは各人に合わせ設定するが、取り扱い可能な分野は、歴史・文化関連の領域で、広義の歴史学・考古学・民俗学・文化人類学・文化政策に関連する事項とする。

受講者については、上記分野に関連するものであれば限定していないが、いずれの分野であっても、フィールドワークの手法を用いることを必須とする。文化の研究は、幅広い関心と超領域的な学問の接続が必要である。